

## 京都府長岡京記念文化会館

<p>課題・問題点等</p>	<p>(利用状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの利用率(67.8%)は近隣類似施設との比較では良好な水準である。</li> <li>・直近の利用者数(1126千人)はピーク時(平成10年度)とほぼ同じ水準である。</li> </ul> <p>(施設老朽化の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設置後25年が経過し、冷温水器・舞台音響設備等の大規模改修が必要になっている。</li> </ul>
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域住民に使用されており、公共性は認められる。</li> <li>・恒常的に企画事業も出せており、府民サービス提供という観点でも問題ない。</li> <li>・今後、老朽化による多額の修繕費用が発生するため、財源の確保が課題。無償貸付の有償化や、利用者に負担してもらうしくみの検討などが必要。</li> </ul> <p>(将来のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣地域(京都府や大阪府内)に同機能を有する会館施設が多数存在していることから、府の施設として設置する意義は弱い。将来的には基礎的自治体立施設として運営すべきであり、地元市町等との協議を検討していくことも必要。</li> <li>・府と市町の共同事業ということで、エリアにおけるランドマークとして地域に1カ所は必要。</li> </ul>

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p><u>継</u> <u>続</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕費用については、受益と負担のバランスの観点から、短期、中長期に分け、適正な負担のあり方を幅広く検討していく。</li> <li>・将来的な施設のあり方については、設置後25年が経過したことを踏まえ、議論を始めていく。</li> </ul>
-----------------------	--